

部門紹介

リハビリテーション科のご紹介(リハビリ職種の役割)



今回は、リハビリテーション科の理学療法士(PT)・作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)の仕事について説明したいと思います。

まず、理学療法士は「起きる」「立つ」「歩く」などの基本的な動作を主としてリハビリを行う職種です。作業療法士は、「洋服を着る」「食事を作る」「字を書く」など日常生活活動に対してリハビリを行う職種です。言語聴覚士は「しゃべる」「聞く」が主になりますが、「食べて飲み込む」といった摂食・嚥下のリハビリも専門になります。

リハビリは英語で書くと「Rehabilitation」になりますが、その語源は「Re:再び」と「Habilis:適する」が合わさったものです。怪我をしたり病気になったりすると今まで出来ていたことが出来なくなる。それを再び出来るようにする事がリハビリ専門職の役割です。当院では、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が合わせて80名ほど在籍しております。各職種が「患者さんとその家族が、より良い家庭生活を送れるようにすること」を目標にリハビリを行っております。

リハビリテーション科 科長 渋谷

トピックス

●市民公開講座のご案内

下記の通り、第1回 市民公開講座開催予定。事前申込不要ですのでお気軽にご参加ください。

開催日:2024年9月13日(金)14:00-15:30(13:30受付開始)

場所:本棟増築棟4階 多目的室

内容:「手の更年期障害と変形性関節症」 講師 中井生男(整形外科 医師)他